



大阪自動車整備健康保険組合 保健師からのお手紙



平素より健康保険組合の保健事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、2014年も残りあとわずかとなりました。2014年は様々な活動にご協力いただきありがとうございました。次号より、それぞれの実施状況についてご報告してまいります。

今後ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月号では、半日ドッグ、生活習慣病予防健診に含まれていたり、オプションで追加できる「がん検診」についてご紹介します。

1. はじめに

現在、日本ではがんによる死亡者は年間 30 万人を超え、死亡原因の第一位を占めています。また、当健保の悪性新生物にかかった医療費は全医療費の約 10% に相当に、呼吸器系、循環器系に次ぐ、第 3 位になっています。

がんによる死亡率を下げることのできる確実な方法は、がん検診です。

企業において、労働者の健康と人生を考えた場合、がんを早期発見・早期治療することは、大事な人材を失うことなく定年まで働いてもらえることにつながります。

2. がん検診の目的

がんによる死亡率を下げること

対象は、無症状の人です。無症状での発見は、進行がんの可能性が小さく、早期治療ができるので死亡リスクを軽減することにつながります。

3. がん検診受診率

受診率（全国平均）



男性

胃がん
肺がん
大腸がん

30%程度

欧米の、乳がん検診・子宮頸がん検診は **受診率が 70%以上！！**
日本は、OECD（経済協力開発機構）加盟国 30 か国の中で **最低レベル** に位置します。



女性

胃がん
肺がん
大腸がん

乳がん
子宮がん

20%台前半

当健保の平成 24 年度のオプション検査補助利用者も、
子宮がん検査 本人 83 人 家族 68 人
乳がん検査 本人 130 人 家族 69 人と、少数です。

4. 会社などでのがんによる死亡率を下げることにに関して「科学的根拠がある」がん検診
※大人数の検診として根拠のあるものです。対個人のがんリスクを下げるがんドックとは考え方が異なります。

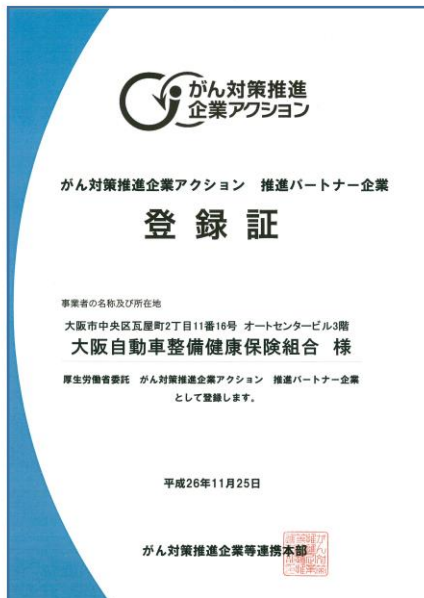
科学的根拠のあるがん検診

対象臓器	効果のある検診方法
胃	胃X線(バリウムを飲む検査)
大腸	便潜血検査、大腸内視鏡
肺	胸部X線と喀痰細胞診の併用(喫煙者)
子宮頸部	細胞診
乳房	視触診とマンモグラフィ(乳房X線)の併用

今の健康診断に追加するなら、これらのがん検診を追加してみませんか。

※乳がん検診について、近年は20代でも発生がみられています。
 乳腺が発達している若い層には、超音波検査が適しています。
 ただし、検査者の技術力が反映されてしまう部分があります。

★大阪自動車整備健康保険組合は、
がん対策推進企業アクション推進パートナー企業に登録しています。



リーフレットを同封していますので、ぜひ、事業所内で回覧してください。

職場で、「がん検診」受診をすすめていきたい！という事業所がございましたら
 小冊子の配付はもちろん、乳がんの自己検診方法やがん検診の受け方等についての研修も承りますので、お気軽に保健師中村までご連絡ください。

<ご質問・お問い合わせ先>

〒542-0066

大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号

TEL 06-6762-6371 FAX 06-6763-1800

大阪自動車整備健康保険組合 医療費適正化対策室

保健師 中村 千賀

※相談開設日：火・水曜日

